

第 1216 圖



なたまめ (刀豆)
一名 たてはき
Canavalia ensiformis DC.
var. *gladiata* Makino.
(= *C. gladiata* DC.)

舊世界熱帯地ノ原産ニシテ往時ヨリ畑ニ栽培セラルル一年生纏繞草本ニシテ無毛ノ莖葉ハ長ク伸ビテ蔓ヲ成ス。葉ハ互生シテ長柄ヲ有シ三小葉ヨリ成リ莖ト共ニ毛ヲ帯ビズ。小葉ハ卵狀長橢圓形ニシテ先端尖リ微凸頭アリ、長サ凡 10cm 内外。夏日、長梗ヲ腋生シ、其上部傾垂シテ穗狀ヲ呈セル總房花序ヲ成シ、淡紅紫色或ハ白色(しろなたまめ var. *alba* Makino)ノ花ヲ着ケ、總長ハ凡 7cm 許アリ。花ハ稍大ニシテ極メテ短キ小梗ヲ具フ。萼ハ鐘狀ニシテ二片ニ分ル。旗瓣ハ圓形ニシテ反卷ス。十雄蕊ハ二體ヲ成シ、一雌蕊アリ。莢ハ長大ニシテ長サ凡 30cm、幅 5cm 許、扁平ニシテ弓曲シ綠色ヲ呈シ背脊ハ強壯ナリ。内ニ二十乃至十四箇ノ種子ヲ包ム、種子ハ扁平ニシテ紅色又ハ白色ヲ呈シ、狭長ナル臍阜ハ殆ド豆粒ト同長ナリ。嫩莢ヲ食用ニ供ス。和名ハ其莢曲リテな(鈍)ノ形ヲ成セルヨリ云フ。又たてはきハ一ニハキトモ云ヒ帶刀ノ意ニシテ畢竟莢ヲ太刀ニ擬シタルナリ。姉妹品ニたまたまめアリテ其莖直立ス、是レ即チ *C. ensiformis* DC. ナリ。

第 1217 圖



はまなたまめ
Canavalia lineata DC.

暖地ノ海邊ニ野生スル強壯ナル多年生草本。莖ハ砂地上或ハ岩上ニ匍匐シ多クノ葉ヲ出シテ繁茂シ強靱ナリ。葉ハ長葉柄ヲ有シテ互生シ、三小葉アル複葉ヲ成シ質厚ク綠色ナリ。小葉ハ三橢圓形ヲ成シテ葉頭短ク尖リ或ハ微尖頭ヲ呈シ全邊ナリ、長サ 6-10cm 許、側生小葉ハ短小柄ヲ有シ中央小葉ハ稍長キ小柄ヲ具フ。夏秋ノ候、長キ花軸ヲ腋生シ、其上部ニ穗狀ヲ成シテ淡紅紫色ノ蝶形花ヲ開キなたまめ花ニ肖タリ。花ハ稍大形ニシテ長サ凡 25-27mm。萼ハ綠色ニシテ紅暈アリ鐘狀ヲ成シテ五裂シ上部ノ二裂片ハ大ニ下部ノ三裂片ハ小ナリ。旗瓣ハ廣闊凹頭、翼瓣龍骨瓣ハ狹長ナリ。雄蕊十箇ニ分ル。子房狹長ニシテ細毛アリ、花柱ハ弓曲シテ長シ。莢ハ大ニシテ 6-9cm、長橢圓形ヲ成シ稍扁平、中ニ二乃至五箇ノ種子ヲ入ル。種子ハ褐色ニシテ橢圓形ヲ成シ長サ 15mm アリテ臍阜ハ長シ。和名ハ濱刀豆ノ意ナリ。

第 1218 圖



ほご (土園兒)
一名 ほどいも
Apios Fortunei Maxim.

諸州山野ニ生ズル多年生蔓草。地下ニ球形ニシテ白肉黃褐皮ノ薯塊ヲ生ズル特性アリ。莖ハ細長ニシテ長ク延ビ他物ニ纏繞ス。葉ハ羽狀複葉ニシテ三-五片ノ小葉ヨリ成リ。小葉ハ卵形或ハ長卵形ヲ成シ先端ハ次第ニ狹窄シテ銳尖ス、長サ 4-8cm ニシテ質薄シ。夏日、葉腋ニ花軸ヲ生ジ、穗狀花序ヲ成シテ小蝶形花ヲ着ケ。花ハ極メテ短キ小花梗ヲ有シ、綠黃色ニシテ紫色暈アリ、長サ 6-7mm 許。萼ハ鐘形ヲ呈シ上ノ二齒片ハ合生シ、下ノ三齒片ハ三角形ヲ成ス。旗瓣ハ廣闊、翼瓣ハ甚ダ小形其末端紅紫色ヲ呈シ、龍骨瓣ハ曲レリ。二體ヲ成セル十雄蕊下ニ曲リ、雌蕊亦同様ナリ。花了テ後 5cm 許ノ莢ヲ結ブ。地中ニ在ル塊根ハ煨テ之ヲ食フ。和名ハ塊或ハ塊芋ノ義ニシテ其薯塊ノほ(塊)ヲ成セルヨリ云フ。漢名ハ又一ニ九子羊、或ハ山紅豆花ト稱ス。

つるまめ (鹿藿)

Glycine Soja Sieb. et Zucc.
(= *G. ussuriensis* Reg. et Maack.)

普ク諸州ノ原野ニ野生スル一年生蔓草、莖ハ瘦長ニシテ長ク伸ビ他物ニ纏繞シ、葉ト共ニ細毛ヲ被フル。葉ハ互生シテ長葉柄ヲ具ヘ、三小葉ヨリ成リ、小葉ハ全邊ヲ成セル披針狀長橢圓形或ハ披針形ニシテ長サ凡 4-6cm、鈍頭、圓底或ハ鈍底。夏秋ノ間、三-四箇ノ紅紫色蝶形花ヲ短總狀ニ綴ル、罕ニ白花品アリ。花體ハ小形ニシテ長サ凡 6mm 許。萼ハ鐘形ニシテ先端ハ五裂シ、細毛アリ。旗瓣ハ扁圓ニシテ微凹頭ヲ有ス。翼瓣ハ旗瓣ヨリ短ク龍骨瓣ハ更ニ短シ。雄蕊十箇、二體ヲ成シ、九箇ノ雄蕊ハ合着シ唯上部ニ於テノミ別ル。莢ハ長サ 2-3cm アリ、毛多クシテだいづノ莢ニ似タリ。種子ハ橢圓形或ハ腎臟形ヲ成シ、多少扁平ナリ。和名ハ蔓豆ノ意。漢名 豌豆 (救荒本草ニ出デ先覺之ヲ用テ正乎否乎)。種名ニ用キシ *Soja* ハ醬油ナレバ此植物ニ之ヲ適用スルハ實ハ非ナリ。

第 1219 圖



第 1220 圖



だいづ (大豆)

Glycine Max Merrill.
(= *G. hispida* Maxim.)

蓋シ支那原産ノ一年生草本ニシテ普ク畑ニ栽培セラル。高サ 60cm 内外。莖ハ直立或ハ稍蔓性ニシテ葉ト共ニ淡褐色ノ毛ヲ被ル。葉ハ互生シテ長葉柄ヲ具ヘ、三小葉(極メテ罕ニ五小葉ノ者アリテゴぼまめ一名がんくひと呼ブ)ヨリ成レル複葉。各小葉ハ通常線形ノ小托葉ヲ有シ、卵形乃至橢圓形ニシテ全邊、銳頭又ハ鈍頭。夏日、葉腋ニ短穗ヲ成シテ小形ノ紫紅色或ハ白色ノ蝶形花ヲ開ク。萼ハ鐘形ニシテ五齒アリ、裂片ハ最下ノ者最長ナリ。旗瓣ハ廣闊凹頭、翼瓣ハ旗瓣ヨリ短小、龍骨瓣ハ最モ小ナリ。十雄蕊アリ二體ヲ成ス。莢ハ短柄ヲ有シ、扁平線狀長橢圓形ニシテ一乃至四箇ノ種子ヲ藏ス。豆ハ黑色(くろまめ一名くろづ)・淡褐色・綠色・黃白色等種々アリ、重要ナル食用品ナリ。和名ハ大豆ノ字音ナリ。

あんどう (豌豆)

一名 あかあんどう 古名 のらまめ
Pisum sativum L. var. *arvense* Poir.
元來歐洲ノ原産ニシテ畑ニ培養スル越年生無毛ノ草本ニシテ秋ニ下種ス。莖ノ高サ 1m 内外、圓柱形ニシテ直上シ中空ナリ。葉ハ互生シテ葉柄ヲ具ヘ質軟クシテ一乃至三對ノ小葉ヨリ成リ先端ハ分岐セル卷鬚ト化シテ攀登ノ用ヲ成ス。小葉ハ卵形乃至橢圓形ニシテ長サ 2-5cm、全邊或ハ時ニ少數ノ小鋸齒アリ。托葉ハ葉狀ヲ呈シ小葉ヨリ優ニ大形ニシテ凡ハ半心臟形ヲ成シ、邊緣ノ下部ニ牙齒アリ。春日、葉腋ヨリ長キ花軸ヲ抽キ、大抵二箇ノ紫色蝶形花ヲ着ケ側ニ向テ開キ、小梗ヲ有セリ。萼ハ綠色ニシテ五裂シ宿存ス。旗瓣ハ淡紫色ヲ呈シ廣クシテ倒心臟形ヲ成シ擴張シテ立ツ、翼瓣ハ雙者相接シ殆ド圓クシテ濃紫色、龍骨瓣ハ小形ニシテ尖レリ。花後平滑ナル線狀長橢圓形ノ扁莢ヲ結ブ。種子ハ鈍四稜ヲ呈シ褐色ニシテ食用ニ供セラル。和名あんどうハ豌豆ノ字音ナリ。今日一般ニあんどうト稱スルハ紫花品ナル本品ト白花品ナルしろあんどうトヲ指ス。

第 1221 圖

